

除雪中の事故や暴風雪から 身を守るために

例年、道内では屋根からの転落などの除雪中の事故が多く発生しています。また、近年は暴風雪による停電や車の立往生などの被害も多発しています。これからの本格的な冬期間を前にあらためて雪の怖さを考え、安全に冬を過ごしましょう。

除雪中の事故から身を守るために

屋根の雪下ろしをするとき

- 複数人で声をかけあって行いましょう。やむを得ず1人で行く場合は家族や近所の人に声をかけておきましょう
- 靴やはしごに滑り止め等をつけましょう
- はしごは忘れずに固定しましょう
- 晴れの日ほど落雪に注意しましょう
- 面倒でも命綱とヘルメットを着用しましょう
- 通行人や子どもに注意しましょう
- 万が一に備えて携帯電話を持ちましょう

暴風雪から身を守るために

家の中で安全に過ごすために

- 気象情報に注意し、暴風雪の危険が予想される場合は、不要不急の外出は避けましょう
 - ※ 砂川市の風雪に関する注意報・警報の基準
 - ・ 風雪注意報＝平均風速 10m/s 雪による視程障害を伴う
 - ・ 暴風雪警報＝平均風速 16m/s 雪による視程障害を伴う
- 停電に備えて電気を使わない暖房器具、懐中電灯、携帯ラジオなどを準備しましょう
- FF式暖房器を使用している場合は、給排気口付近が雪でふさがれないように注意しましょう

車で外出するとき

- 立往生する可能性があるので、防寒着、長靴、手袋、スコップ、けん引ロープなどを用意しておきましょう
- 十分に燃料があることを確認して出かけましょう
- 万が一に備えて、飲料水や非常食、使い捨てカイロを用意しておきましょう

車を運転しているときに暴風雪に遭遇したら

❶ 視界不良になった場合、そのまま運転を続けるのはたいへん危険です

- 無理をせずに道の駅やコンビニ、ガソリンスタンドなどで天気の回復を待ちましょう

❷ 吹雪などで車が動けなくなった場合、後続車から追突される危険があります

- ハザードランプを点滅させ、停止表示板を置くなど、車を目立つようにしましょう
- JAFなどのロードサービスや近くの家などに救助を依頼しましょう
- 避難できる場所や家などが近くに無い場合は、消防や警察に連絡して救助を依頼しましょう



❸ 車内で救助を待つ場合、排気ガスによる一酸化炭素中毒や低体温症になる危険があります

- マフラーが雪に埋まると排気ガスが車内に逆流し、一酸化炭素中毒をおこすおそれがありますので、車が雪に埋まった場合は原則エンジンを停止しましょう
- 防寒等でやむを得ずエンジンをかけるときは、こまめにマフラー周りを除雪しましょう
- 窓を開けていても絶対に安全とは言えません。風向きや窓の開度などの条件によっては、窓を閉めているときより一酸化炭素中毒の危険性が高くなる場合があります